

Sx500シリーズスタックブルスイッチのポートおよびVLANミラーリングの設定

目的

ポートミラーリングは、ネットワークトラフィックを監視するために使用される方法です。ポートミラーリングを使用すると、ネットワークデバイスのポート（送信元ポート）での着信パケットと発信パケットのコピーが、パケットが調べられるほかのポート（ターゲットポート）に転送されます。これは、ネットワーク管理者が診断ツールとして使用します。

このドキュメントの目的は、Sx500シリーズスタックブルスイッチでポートとVLANをミラーリングする方法を説明することです。

該当するデバイス

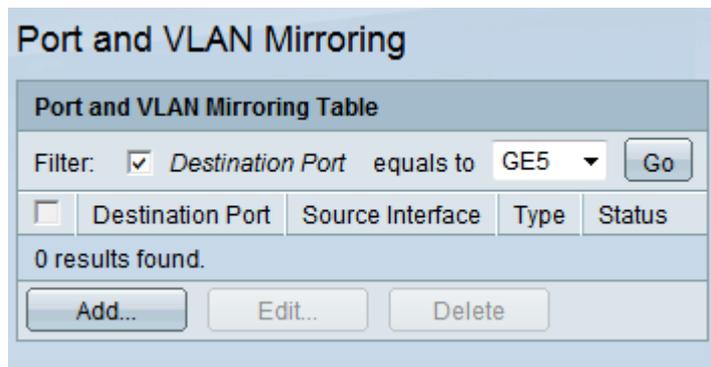
- ・ Sx500シリーズスタックブルスイッチ

[Software Version]

- ・1.3.0.62

ポートおよびVLANミラーリング

ステップ1:Web構成ユーティリティにログインし、[Administration] > [Diagnostic] > [Port and VLAN Mirroring]を選択します。[Port and VLAN Mirroring]ページが開きます。



ステップ2:[Destination Port]チェックボックスをオンにして、フィルタを有効にします。このオプションを使用すると、宛先ポートに基づいてポートおよびVLANミラーリングテーブルを手動でフィルタリングできます。

ステップ3:[Destination Port]ドロップダウンリストから宛先ポートを選択します。

ステップ4:[Go]をクリックします。

ポートおよびVLANミラーリングの追加

ステップ1:[Add]をクリックして、新しいポートまたはVLANミラーを追加します。[Add Port and VLAN Mirroring]ページが開きます。

Destination Port: Unit/Slot 1/1 Port GE5

Source Interface: Unit/Slot 1/1 Port GE10 VLAN 1

Type: Rx Only Tx Only Tx and Rx

Apply Close

ステップ2: (オプション) [Unit/Slot and Port]ドロップダウンリストから、宛先ユニット、スロット、およびポートを選択します。これは、パケットコピーが送信されるポートです。ポートがアナライザの宛先ポートとして識別される場合、すべてのエントリが削除されるまで、アナライザの宛先ポートのままです。

ステップ3: 目的の送信元インターフェイスタイプのオプションボタンをクリックし、ドロップダウンリストからインターフェイスを選択します。使用可能なオプションは次のとおりです。

- ・ ユニット/スロットおよびポート: ユニットは、スイッチがアクティブか、スタック内のメンバかを識別します (ユニット1がアクティブで、ユニット2がメンバです)。スロットは、使用されているスイッチのタイプを示します (スロット1はSF500、スロット2はSG500)。 [ユニット/スロット(Unit/Slot)]ドロップダウンリストから必要なオプションを選択します。 [Port]ドロップダウンリストから、送信元ポートとして設定するポートを選択します。使用されている用語に慣れていない場合は、シスコビジネスをご覧ください。[新用語一覧](#)。
- ・ VLAN:[VLAN]ドロップダウンリストから、モニタするVLANを選択します。VLANは、ホストのグループが、場所に関係なく、同じ物理ネットワーク上にあるかのように通信するのに役立ちます。

注: 送信元インターフェイスを宛先ポートと同じにすることはできません。

ステップ4: ステップ3で[Unit/Slot]および[Port]をクリックした場合は、モニタするトラフィックのタイプに応じて目的の[Type]オプションボタンをクリックします。使用可能なオプションは次のとおりです。

- ・ Tx: このオプションは、発信パケットのポートミラーリングを許可します。
- ・ Rx: このオプションは、着信パケットのポートミラーリングを許可します。
- ・ TxおよびRx: このオプションでは、着信パケットと発信パケットのポートミラーリングが可能です。

ステップ5:[Apply]をクリックします。

ポートとVLANミラーの編集

ステップ1: ポートおよびVLANミラーリングテーブルから編集するエントリのチェックボックスをオンにします。

Port and VLAN Mirroring

Port and VLAN Mirroring Table

Filter: Destination Port equals to GE1

<input type="checkbox"/>	Destination Port	Source Interface	Type	Status
<input type="checkbox"/>	GE1/1/5	GE1/1/1	Rx Only	Not Ready
<input checked="" type="checkbox"/>	GE1/1/5	GE1/1/10	Tx and Rx	Not Ready

ステップ2:[Edit]をクリックします。[Edit Port and VLAN Mirror]ページが開きます。

Destination Port: GE1/1/5

Source Interface: GE1/1/10

Type: Rx Only
 Tx Only
 Tx and Rx

注：VLANが送信元インターフェイスとして選択されている場合、編集できません。

ステップ3：使用可能なオプションから目的のタイプをクリックします。

- ・ Tx：このオプションは、発信パケットのポートミラーリングを許可します。
- ・ Rx：このオプションは、着信パケットのポートミラーリングを許可します。
- ・ TxおよびRx：このオプションでは、着信パケットと発信パケットのポートミラーリングが可能です。

ステップ4:[Apply]をクリックします。

ポートまたはVLANミラーの削除

ステップ1：ポートおよびVLANミラーリングテーブルから削除するエントリのチェックボックスをオンにします。

ステップ2:[削除]をクリックします。

Port and VLAN Mirroring

Port and VLAN Mirroring Table

Filter: Destination Port equals to GE1

<input type="checkbox"/>	Destination Port	Source Interface	Type	Status
<input type="checkbox"/>	GE1/1/5	GE1/1/1	Rx Only	Not Ready
<input checked="" type="checkbox"/>	GE1/1/5	GE1/1/10	Tx and Rx	Not Ready